

アプリケーションカタログ 食用油の過酸化価

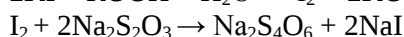
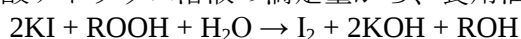
関連業界	:	動植物油
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	基準油脂分析試験法, ISO 3960

1. 概要

過酸化価の測定は、日本油化学会制定「基準油脂分析試験法（Ⅱ）参考資料 2.4-1996 過酸化価（クロロホルム法）」に基づいて、クロロホルムと酢酸（1：2）の混合溶剤に溶かしたものを試料とし、窒素ガスを試料中に流して溶存酸素を追い出しながらよう化カリウム溶液を加えて、電位差滴定法により0.01mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液で遊離したよう素を滴定します。

滴定の終点は、滴定曲線上の最大変曲点です。

チオ硫酸ナトリウム溶液の滴定量から、食用油の過酸化価を算出します。



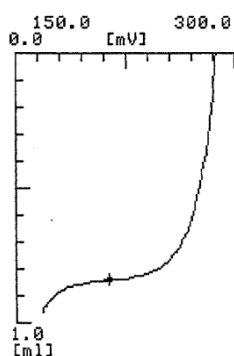
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア：STD）
電極	:	白金電極，セラミック形比較電極

3. 試薬

滴定液	:	0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液（f=1.00）
滴定溶媒	:	クロロホルム＋酢酸（1+2）
添加試薬	:	飽和ヨウ化カリウム溶液
不活性ガス	:	窒素ガス

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	採取量 (g)	滴定量 (mL)	過酸化価 (meq/kg)
1	10.0185	0.8453	0.84374
2	10.0310	0.8655	0.86283
3	10.0382	0.8736	0.87028
平均			0.85895
偏差			0.01369
RSD (%)			1.5937

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>